



## 電話機の削除

一連の電話機およびその他の IP テレフォニー デバイスを Cisco Unified CallManager データベースから削除するには、ここで説明する手順を実行します。

次の 2 つの方法を使用して既存の電話機レコードを検索することができます。

- [クエリーを使用した電話機の削除 \(P.8-1\)](#)
- [カスタム ファイルを使用した電話機の削除 \(P.8-3\)](#)

### クエリーを使用した電話機の削除

電話機レコードを検索するためのクエリーを作成して電話機を削除する手順は、次のとおりです。

#### 手順

**ステップ 1** [Bulk Administration] > [電話] > [電話の削除] > [クエリー] の順に選択します。

[電話の削除 (Delete Phones Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 最初の [検索対象: 電話、検索条件:] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [デバイス名 (Device Name)]
- [説明 (Description)]
- [電話番号 (Directory Number)]
- [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]
- [デバイスプール (Device Pool)]
- [デバイスタイプ (Device Type)]
- [コールピックアップグループ (Call Pickup Group)]
- [LSC ステータス (LSC Status)]
- [認証文字列 (Authentication String)]
- [デバイスプロトコル (Device Protocol)]
- [セキュリティプロファイル (Security Profile)]
- [未定義の DN(Unassigned DN)]

2 番目の [検索対象: 電話、検索条件:] ドロップダウンリスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列と等しい]
- [が次の文字列で終わる]
- [が空である]
- [が空ではない]

**ステップ 3** 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



**ヒント** データベースに登録されているすべての電話機を検索するには、検索テキストを入力せずに **[検索]** をクリックします。

**ステップ 4** クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加する場合は、[絞り込み] チェックボックスをオンにし、ドロップダウン ボックスから **[AND]** または **[OR]** を選択して、ステップ 2 ~ 3 を繰り返します。

**ステップ 5** **[検索]** をクリックします。

検索された電話機のリストが、次の項目別に表示されます。

- [デバイス名 (Device Name)]
- [説明 (Description)]
- [デバイスプール (Device Pool)]
- [デバイスプロトコル (Device Protocol)]
- [ステータス (Status)]
- [IP アドレス (IP Address)]

**ステップ 6** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

**ステップ 7** [今すぐ実行] オプション ボタンをクリックして電話機レコードを即座に削除するか、[後で実行] をクリックして電話機レコードを後で削除します。

**ステップ 8** **[送信]** をクリックして、電話機レコードを削除するジョブを作成します。



**(注)** ジョブを送信する前に、表示された結果のリストを全部確認してください。

**ステップ 9** [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウで、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、第 52 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、P.57-4 の「BAT ログ ファイル」を参照してください。

**注意**

クエリー テキストボックスに情報を何も入力しないと、すべての電話機レコードが削除されます。削除は最終的な操作なので、削除したレコードは復元できません。

**その他の項目**

詳細については、[P.8-4](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

## カスタム ファイルを使用した電話機の削除

テキスト エディタを使用して、削除する電話機のカスタム ファイルを作成することができます。同一のカスタム ファイルの中に、MAC アドレスとデバイス名の両方を含めることができますが、電話番号は同じファイルに入れることはできません。複数のファイルを作成する必要があります。1 つのファイルには、デバイス名と MAC アドレスを含め、もう 1 つのファイルには電話番号を含めます。

**始める前に**

1. 削除する電話機について次の詳細のいずれかを記載するテキスト ファイルを作成します。
  - デバイス名および MAC アドレス
  - 説明
  - 電話番号
2. テキスト ファイルで 1 行に 1 項目ずつ配置します。
3. カスタム ファイルを Cisco Unified CallManager サーバにアップロードします。ファイルのアップロードの詳細については、[P.2-4](#) の「[ファイルのアップロード](#)」を参照してください。

カスタム ファイルに記載されている電話機を削除する手順は、次のとおりです。

**手順**

**ステップ 1** **[Bulk Administration] > [電話] > [電話の削除] > [カスタムファイル]** の順に選択します。

[電話の削除 (カスタム) (Delete Phones Custom Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [削除対象: 電話、検索条件:] ドロップダウン リスト ボックスで、作成したカスタム ファイルのタイプを次のいずれかの条件から選択します。

- [デバイス名] (MAC アドレスを含む)
- [電話番号]
- [説明]

**ステップ 3** カスタム ファイルのリストで、この削除用のカスタム ファイルのファイル名を選択します。

**ステップ 4** **[検索]** をクリックします。検索条件に一致する電話機のリストが表示されます。

**ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

## ■ 関連項目

**ステップ 6** [今すぐ実行] オプション ボタンをクリックして電話機レコードを即座に削除するか、[後で実行] をクリックして電話機レコードを後で削除します。

**ステップ 7** [送信] をクリックして、電話機レコードを削除するジョブを作成します。

**ステップ 8** [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウで、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 52 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。

ログファイルの詳細については、[P.57-4 の「BAT ログ ファイル」](#)を参照してください。

---

**その他の項目**

詳細については、[P.8-4 の「関連項目」](#)を参照してください。

**関連項目**

- [クエリーを使用した電話機の削除 \(P.8-1\)](#)
- [カスタム ファイルを使用した電話機の削除 \(P.8-3\)](#)